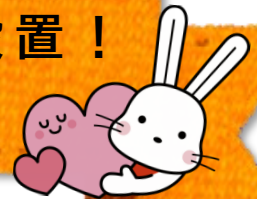


【紹介】

市内投票所への 『コミュニケーションボード』設置！

～福島市選挙管理委員会～



昨年10月実施の衆議院議員選挙から導入された『コミュニケーションボード』を紹介します。
バリアフリー推進パッケージの事業の1つで、本市独自の取り組みです。

コミュニケーションボードとは？

聴覚に障がいのある方や言葉の発声が困難な方とのコミュニケーションを手助けするものです。

イラストを指さすことで、困っていることや手伝ってほしいこと、また、その対処などを、お互いに伝え合うことができます。

コミュニケーションボードができるまで

内容やレイアウトなどについては、バリアフリー推進パートナーの「福島市聴覚障害者協会」へ相談し、アドバイスをもらいました。
本市オリジナルのデザインです！

他にも、誰もが安心して、スムーズに投票が

できるように、①代理投票、②点字投票、③介助者の同伴、

④投票用紙記入補助具、⑤ヘルプカードなどの

支援を行っています→→→



詳しくは
市HPへ

コミュニケーションボード
何かお手伝いできますか？

1 入場券(はがき)を
忘れました
A. 本人確認をさせてい
ただければ、投票ができます

2 候補者が分かりま
せん
A. 選挙公報をお渡しします
また、記載台に候補者や政党
などの名前が書いてあります

3 字が書けません
A. 職員が代わりに書
きます(代理投票)

4 投票用紙の書き方が分かりません
A. 選挙によって違います
衆議院選挙
小選挙区 比例代表 国民審査
参議院選挙
選挙区 比例代表 地方選挙
筆談でも対応可能です

5 書き間違えました
A. 二本線で
消してください

6 次の物を借りたいです
・老眼鏡
・点字器
・投票用紙記入補助具(目の
不自由な方の投票をサポート)
・その他

福島市選挙管理委員会 ☎024-525-3777



多言語のコミュニケーション支援の観点
からも広く注目されています。



『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー Vol.7

<

4つのバリア（壁）を詳しく知ろう②>

～「決まりのバリア」ってどんなこと？～

決まりのバリア

物のバリア

4つのバリア

文化・情報のバリア

心（意識）のバリア

制度やルールにより
行動の制限を受けたり
機会を奪われるバリア

例えば

・盲導犬を連れた方が飲食店で
入店を断られる



・車いすを使用していることを理由
に、受験や入学を断られる など



多数を占める人の視点で考えられてきた社会の仕組
みや制度、ルールにより、一部の人が多数を占める人
と同じ機会が得られないことがあります。

【誰もが当事者である意識】をもって、多様な
視点で考え、日々見直していくことが大切です★

祝
『ここフリ』
2周年

『ここフリ』クイズ★



Q1.一人ひとりにできる
心のバリアフリーの行動は？
▶ヒント：やってみよう！心のバリアフリー

Q2.外見から分からなくても、
援助は配慮を必要としていることを
周りに知らせるマークは？



←【答え】

ここフリ第11号から
お読み取りください

『誰にでもやさしいまち ふくしま』の
実現に向けて、これからもさまざまなバリア
フリー情報を、わかりやすく発信してまいり
ます！！

ご案内

令和6年度 心のバリアフリー講演会

と き/2月11日（火・祝）
14:00～15:20（開場13:30）
ところ/ホテル福島グリーンパレス 瑞光の間
演 題/「福島市と歩んだ

パラリンピックへの軌跡」

パラリンピックボッチャ競技、パリ2024大会
銅メダリストと東京2020大会日本代表監督に、
バリアフリーについて講演いただきます！



◀ 詳細・お申込みは
市のHPでご確認ください

ここフリ第14号は

令和7年3月頃 発行予定！

バックナンバーはこちら⇒⇒⇒

